

若手教員早期育成プログラムの確立

目指す教師像

教職の基盤を固める時期

第Ⅰ期(1~3年目)

学級担任としての力量を身に付ける。

上司や先輩からの指導を受け、教員としての最低限の指導技術を習得して職務を遂行

第Ⅱ期(4~6年目)

学年において担当する校務分掌を遂行する力量を身に付ける。

サポートを受けながら教員として自立して職務を遂行

第Ⅲ期(7~10年目)

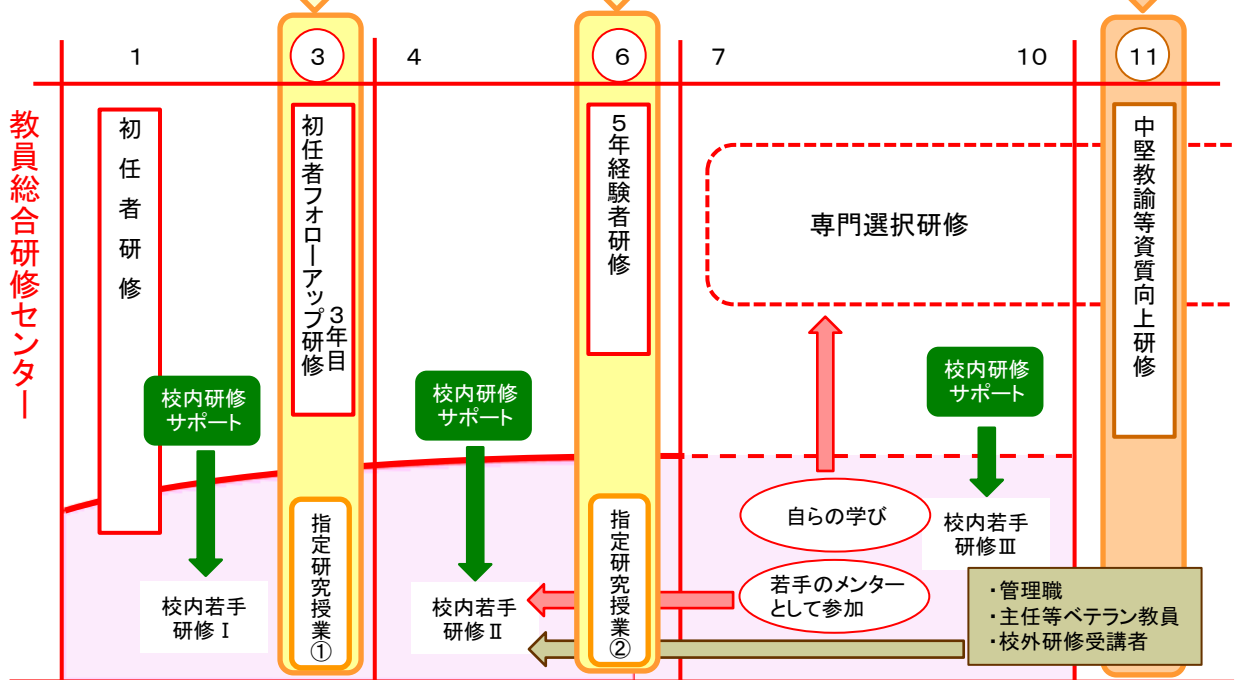
学校において担当する校務分掌を遂行する力量を身に付ける。

自立して質の高い職務の遂行を目指すとともに、若手教員を積極的に支援

第Ⅰ期評価(3年目)

第Ⅱ期評価(6年目)

最終評価(11年目)
10年間の若手の伸びを評価する



[実施スケジュール]

H28年度

H29年度

H30年度

H31年度

実践モデル校(18校)を指定

実践モデル校で実施[1年目]

実践モデル校で実施[2年目]
プログラム策定、周知

全校実施